

会議名 (審議会等名)	平成28年度 第1回 川西市青少年問題協議会		
事務局 (担当課)	川西市教育委員会 こども未来部 こども家庭室 こども・若者政策課 内線(3441)		
開催日時	平成28年7月5日(火) 午後3時～4時半		
開催場所	市役所 7階 大会議室		
出席者	委員	阪田憲二郎、大堀彰子、大崎淳正、黒田清二三、熊田早苗、中田鞆子、中西博、高木佳子、荻田雅仁、矢野孝雄、中井成郷、澁野敏彦、松山幸一郎、掛井政之、若生雅史、丸山浩志、木本達士	
	事務局	こども未来部長 中塚一司 こども家庭室長 山元昇 こども・若者政策課 課長 中西成明 主査 鳥越永都子 主任 池田次郎	
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合、その理由			
会議次第	1.開会 2.委員の委嘱について 3.協議事項 (1)会長の選出について (2)青少年健全育成要綱(案)について (3)「青少年ふれあいデー」について (4)「青少年フォーラム」について (5)子ども・若者総合相談窓口について (6)「青少年の表彰」について 4.その他 5.閉会		
会議結果	協議事項 (1)阪田憲二郎委員を会長に、大堀彰子委員を副会長に選任。 (2)平成28年度川西市青少年健全育成要綱(案)を原案のとおり承認。 (3)平成28年度「青少年ふれあいデー」の実施計画を承認。 (4)平成28年度「青少年フォーラム」の実施のあり方について、「青少年育成フォーラム検討委員会」にて検討を行っていくことで承認。 (5)子ども・若者総合相談窓口の継続実施について承認 (6)平成28年度「青少年の表彰」を要綱に基づき実施することで承認。		

審 議 経 過 (要 旨)

1. 開会 (14:00)

事務局のあいさつ、欠席者・資料の確認。

2. 委員の委嘱について

(事務局)

今年の3月末までで任期が満了したため、今回は全委員が「改選」となります。本日は、時間の都合もありますので、辞令は机上に置かせていただいております。ご確認くださいませよう、よろしくお願いいたします。

3. 教育長挨拶、自己紹介

(全委員自己紹介。その後、事務局の紹介、教育推進部からの出席者の紹介。)

4. 協議事項

協議事項 (1) 会長の選出について (資料 1)

(事務局)

会長は委員の互選によって選出していただくこととなっておりますが、いかが取り計らいましょうか。

(事務局)

特にご意見が無いようですので、事務局案をご提案させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員の了承

(事務局)

今後の青少年育成について専門的知識を持っておられる「阪田委員」に会長を、また、臨床心理士としてもご活躍されている経験から「大堀委員」に副会長をお願いいたしたいと存じますが、いかがでしょうか。

阪田委員、大堀委員の了承

その後、全委員の了承

協議事項 (2) 平成 28 年度川西市青少年健全育成要綱 (案) について (資料 2)

(事務局)

(川西市青少年健全育成要綱の改正について、資料 2 を読み上げて説明。)

(会長)

事務局から説明がありましたが、ご質問・ご意見はありますか。

(委員)

総合相談窓口の現在の状況を教えてください。

(事務局)

後程、実績の報告の場を設けておりますので、その際に報告をいたします。

全委員の承認

(会長)

全委員から承認を頂きましたことにより、本要綱は本日から適用となりますので、よろしくお願いたします。

協議事項(3)平成28年度「青少年ふれあいデー」について

(事務局)

(平成28年度「青少年ふれあいデー」の実施計画を説明。)

(会長)

事務局から説明がありましたが、「青少年ふれあいデー」についてご質問・ご意見はありますか。

(委員)

川柳コンクールについて、青少年の部は、市内小・中学校が取り組んでくれているので、市内からの応募が多いのですが、一般の部の応募が少ないと思います。市内からの応募数が増えるよう、何か取り組みをしていただきたいです。

(事務局)

川柳コンクールの応募は、多くなってきております。その背景として、公募雑誌に掲載依頼をしたことがあります。公募雑誌に掲載したことで、全国から作品が寄せられ、市内の応募数の比重が下がってしまった現状があります。市内団体をお願いしながら、子どもだけでなく、親御さんらに家族について考えていただき、市内からの応募していただけるよう、取り組んでまいりたいと思います。

(委員)

川柳と同様、写真も市内からの応募が少ないと思います。公募雑誌により全国からの応募が増えていますが、テーマにそぐわないものもあります。写真クラブやサークルなどがあると思いますので、そちらにも声掛けしてもらえばと思いました。

(会長)

今年のスケジュールでは、広報誌やフェイスブック、ホームページに募集の掲載をされるのですが、これは新しい試みでしょうか。

(事務局)

はい。小学校への配布や広報誌、ホームページでの掲載は以前より行っていることであります。フェイスブックへの掲載は、はじめてです。

(会長)

先ほど、写真クラブなどへの参加等の意見がありました。

(事務局)

写真であれば、各公民館などで講座やサークルをされていると思います。地域団体や、各コミュニティが公民館などを通じて、ふれあいデーについて知っていただけたらと思いますので、できることは取り組んでいこうと思います。

(委員)

現在、個人情報について厳しくなっているところもありますので、プライバシー、ポリシーに遵守したかたちで、受賞者の選定や、発表などの今後の取り扱いをしないといけないと思います。

(会長)

たしかに、個人情報の保護は必要ですので、使用目的を明確にするなどの取り組みをする必要がありますので、対応をよろしくお願いします。では、今のご説明のとおり、今年度の事業を進めることとしてよろしいでしょうか。

全委員の承認

協議事項(4)平成29年度「青少年フォーラム」について

(資料4を読み上げて説明。)

(会長)

青少年フォーラムの背景を踏まえつつ、昨年度のこの協議会で新たに考えていこうと話合いました。今回事務局からご提案いただいたという経緯です。この件に関して、ご意見、ご提案ありますでしょうか。

(委員)

企画案2についてですが、音楽を通じてまちを知ってもらおうということはすごく良い企画だと思います。本当に子ども達は色々なことに取り組んでいますが、発表の場がないので、すごくほしいのです。ただ、川西のまちを題材にした楽曲を用意することというような条件を付けるのではなく、歌いたい曲を歌えるような場を私たちが作ってあげるのが良いのではないのでしょうか。

(会長)

条件を緩和するということでしょうか。

(委員)

条件は無い方が良いでしょう。吹奏楽やオーケストラなどの発表する機会があるところは良いのですが、そうではなく、何人かで頑張っているけれど、発表するところがない人たち

をたくさん集めて、企画をしてあげることによって応援できるのではないかと思います。ただ、川西の歌を作らないといけないとなると面白くなってしまふ恐れがあります。川西の良いところは他でPRした方がいいと思います。

(事務局)

補足になりますが、同様の試みとして、アーティストオーディションがあったと思いますが、それとはまた違って、競争するのではなく、発表する場を提供するというのを考えております。楽曲を作ってもらうことに関しては、たしかにハードルが高いかなと思うところもありますが、やはり、テーマを作った方がよいと思いますので、楽曲の作成としました。

(会長)

2曲演奏するのはいかがでしょうか。課題曲と自由曲のように。

(委員)

私は、夜に青少年の関係で見回りをしているのですが、阪急とアステの間でよく発表されている方がいらっしゃいます。このような方々に声を掛けるとすぐにたくさん参加されると思います。ただ、声を掛けるタイミングも考えないといけないと思いますね。

(会長)

ストリートミュージシャンに声を掛けるということですね。

(事務局)

出場者については、川西市在住の方など川西に関係のある方がいいなと思っております。ストリートミュージシャンの中にも川西に関係のある方がいらっしゃいますが、高校の軽音楽部なども発表の機会が年に1回あるかないかですので、そういった方たちに参加してもらい、それを支えることができたらと考えた企画です。この企画に決まれば、取り組んでいくこととなります。そのほかの企画も含めて、ご意見をいただきたく、皆さまよろしくお願ひします。

(委員)

企画1について、年齢制限が30歳未満となっていますが、ちょっと厳しいと感じます。40歳の方が、30歳未満の方を巻き込んで取り組んでいる可能性もありますが。

(事務局)

各企画に対し、年齢制限を設けております。年齢の制限については、案として提出してあります。ここに記載しているものが、必ずしも決定事項ということではありません。制限をなくした方がよいというご意見がありましたら、そのように検討したいと思ひます。今回、この中から選んでほしいということではありません。

(委員)

この場で決めるわけではないということでしたので、先程の企画2の川西の歌についてですが、企画的に薄くなってしまふ気がしますが、構想的に実際どの程度を考えていらっしゃるの

でしょうか。

(事務局)

若い世代の方が自ら参加したいと思えるような方法を考えたいというのがあります。前回フォーラムを行っても、若者の参加率がよくありませんでした。やはり、参加型のイベントの方が良いのかなと。オーディション型の音楽イベントですと、過去にも行っているのですが、一番の問題は、会場と音響機材の確保が必要になります。そういったところの経費を抑えて、なおかつ、若い世代の方に積極的に参加したいなと思ってもらえることを目指しています。

(委員)

これらの企画については、若者に対する支援ですので、当事者の意見を吸い上げる方法を考えられないでしょうか。

(事務局)

はい。一般の若者から意見を吸い上げるという方法として、検討会やアンケート等を検討してみます。

(会長)

各人ご意見ありませんでしょうか。高校の立場からはいかがでしょう。

(委員)

アンケートで高校生の声を聞きたいのであればできると思います。

(委員)

案の中にキセラ川西に関する企画がありますが、公共空間を利用したシビックプライドの醸成について、キセラ川西整備関係の事務局が、ワークショップ等を行っています。専門の先生を呼んで勉強会を開催するのはいかがですか。

(事務局)

ありがとうございます。企画の方向性により、ご相談させていただければと思います。

(委員)

どれもいい案だと思います。ただ、参加者を集めることは簡単なことではありません。私たちも協力し、支えていかなければいけないと思います。

(事務局)

参加者を集める方法は、チラシや広報誌などに加え、SNSを活用するなど、これから事務局で考えていきたいと思っています。

(会長)

他にございますか。多くの意見がでましたので、事務局の方で検討をよろしく願いいたします。

全委員の承認

協議事項（５）子ども・若者総合相談窓口について

（資料５を読み上げて説明。）

（会長）

ありがとうございました。ただいまのご説明に対してご質問ありますでしょうか。

（委員）

相談に来ることのできない人が、何かのＳＯＳを発信した際に、アウトリーチができるかどうか一つの課題だと思います。難しい課題ですが、各機関との連携を図りながら、実践していくことはできないでしょうか。

（事務局）

ひきこもりなどのケースはそれぞれです。その人の状況を見ながら、時間をかけて対応していかなければいけない。アウトリーチとはいっても、単に専門の職員がいたら良いというわけではないと思いますので、それは課題として、こちらとしても勉強していきたいと考えています。

（委員）

大変難しい問題だと思いますね。窓口として、こういう機関があることは大変重要なことです。15歳を超えると、対応する窓口はなかなか無く、完全にひきこもる手前のところで支援ができれば、非常に意味があるものだと思います。教育相談センターなど、思春期・青年期と長期にわたってフォローができ、例えば不登校になっても、通信制の高校に通い、大学へと進学する方法もある。その中で、せっかく社会性を身につけられたのに、途中で支援が切れてしまうことは残念なことで、各機関の連携が大事だと思います。

（事務局）

キセラ川西内にできる複合施設内には、一定のスペースを用意する予定です。施設には、子育て関係を含めた各機関が入る予定で、そういった機関との連携を図っていきたいと考えています。現行の窓口は入口で、次へのステップへつなげていきたいと思っています。

（委員）

以前、居場所づくりの話聞いていましたが、そちらはどうなったのでしょうか。

（事務局）

複合施設ができる見込みは平成30年となっております。ハードとして用意される居場所にソフト面でどう対応していくのか、職員体制なども含め検討していきます。

（委員）

セオリアという施設がありますよね。現在、どうなっているのですか

(委員)

指導員を2人配置しています。昨年であれば、30人程度の登録をしていました。9時半から2時半までそれぞれ自分の課題をやっています。大きな集団では厳しくとも、ここなら行けるとい場合もあります。

(委員)

今おっしゃっている居場所はセオリアとは違うのですか。

(事務局)

社会に適合していくための準備をする居場所で、進学等が目的となるところではありません。

(会長)

他にありませんでしょうか。それでは、新施設の整備とあわせて、今後の事業の検討・実施をよろしくお願いします。

全委員の承認

協議事項(6)「青少年の表彰」について

(資料6を読み上げて説明。)

(会長)

昨年度同様に第2回青少年問題協議会を平成28年明けに開催する予定のため、委員の皆様
に審議していただく場がございません。そこで、後日「青少年の表彰」選考委員の方に集まっ
ていただき開催いたします「選考委員会」の決議をもって決定いたします。なお、選考委員と
して、青少年団体連絡協議会会長の 澁野 委員、県立高等学校校長会代表の 掛井 委員、
川西市立中学校校長会代表の 丸山 委員にお願いするのはいかがでしょうか。
この3名の委員の方々は、青少年育成団体・中学校・高校に精通するなどの点から、適任と考
えております。

全委員の承認

(委員)

自校の生徒会や部活動への推薦に学校長が入っているというのは本来の趣旨とは違うんでは
ないかと感じます。地域に貢献していることが理由で表彰されるのであれば、地域にご推薦い
ただければいいですね。また、昨年は清和台の個人が表彰されたますが、ああいった目立たな
い活動への表彰も期待しています。

(会長)

他に何かご意見・ご質問はありませんか。

(会長)

他に意見もないようですので、今年度は、このような形で青少年の表彰を進めて参りたいと思います。予定していた時間も来ておりますので、今後とも各団体が協力し合いながら青少年の健全育成をより一層進めていくことができますようよろしく願いいたします。司会を事務局にお返しします。

5. 閉会

事務局あいさつ。